

# 育てよう明日を

通信

2019夏号

このコーナーは、JA県中央会・各連合会の情報をお伝えするコーナーです。

## JAグループ鹿児島

### 国際協同組合デー 今年のスローガンは「働きがいのある人間らしい仕事の実現」

#### JAグループ一斉清掃・役職員らに感謝の声

JAグループ鹿児島では、JA役職員の社会貢献意識を高め、協同組合の意義や役割を再認識する目的で毎年「国際協同組合デー」に合わせて清掃作業などを行っています。今年は、JA、県連、関連会社の役職員約4500人が県内150か所で作業。



JAあいらの様子



JA鹿児島きもつぎの様子



JAいぶすきの様子



あいさつする山野会長

#### 協同組合の前進誓う、記念朝礼

JA鹿児島県中央会は7月16日、JA県会館で第97回国際協同組合デー記念朝礼を行いました。7月第1土曜日の国際協同組合デーに関連し、毎年行っています。

JA県中央会の山野徹会長が「SDGs(持続可能な開発目標)の推進には協同組合との連携が不可欠とされ、協同組合への期待も高まっている。デーを契機に職員一人一人が思いを新たに協同組合運動に積極的に取り組んでほしい」とあいさつしました。

職員代表が国際協同組合同盟(ICA)メッセージとKJC宣言を読み上げ採択しました。7月26日は、同市で各協同組合の役職員約200人が集まり、記念集会も開かれました。

## JA県厚生連

### 鹿児島厚生連病院などに感謝状・屋久島町大雨災害で

鹿児島県は6月7日、県庁で屋久島町の大雨災害で救助や支援に尽力した、鹿児島厚生連病院や熊毛地区消防組合など7機関・団体に感謝状を贈呈しました。

屋久島町は、5月18日に局地的な大雨により、登山者らが孤立。翌日、県警や地元消防団などの救助活動を受けて全員が下山し、救助者は314人になりました。

厚生連病院の宮原広典副院長や保健師らは、同町で巡回健診を行っていましたが、要請を受け、地元医師4人と5チームを編成し、50人以上の健康状態を確認しました。

宮原副院長は「災害はいつどこで発生するか分からない。病院では検診車で県内を巡回健診しているが、万が一の場合、要請があれば協力し力になりたい」と話しました。



宮原副院長が三反園知事に感謝状を贈呈(鹿児島市で)

育てよう明日を

JAグループ鹿児島

